

## 1. UOM Summer Program 2014 overview

Summer Program 2014 was held from July 14 to August 1. 28 students, 2 from Hochschule Ostwestfalen-Lippe, Germany, 3 from Sunchon National University, Korea, 3 from Busan University of Foreign Studies, Korea, 2 from Nanjing Agricultural University, China, 10 from Shanghai Jiao Tong University, China, 2 from Wenzhou Medical University, China, 1 from Kuming Medical University, China, 1 from National Chengchi University, Taiwan, and 4 from Prince of Songkla University, Thailand participated the program.

On the first day, the participants paid their respects to UOM President Suganuma and had a short meeting with him, and then were taken around for Campus Tour. From the second day, they were streamed into three classes, namely Japanese Language Class, Japanese Culture Class and Laboratory Research Class, where the participants furthered their own studies. Moreover, they enjoyed Cultural Lessons and Field Trips to experience Japanese culture and society closer and deeper. At the closing ceremony, Prof. Itami, the director of the Center presented the diploma of the program to each participant. It was with great pleasure that we welcomed 28 students.

We hope that they will keep their motivation and continue their studies in their countries. And, we look forward to more students' joining UOM in the future.

### 宮崎大学サマープログラム 2014

2007年度の開始から8回目を迎えた今回のプログラムは、オストヴェストファーレンリッペ大学（ドイツ）から2名、順天大学校（韓国）から3名、釜山外国語大学校（韓国）から3名、南京農業大学（中国）から2名、上海交通大学（中国）から10名、温州医科大学（中国）から2名、昆明医科大学（中国）から1名、国立政治大学（台湾）から1名、プリンス・オブ・ソクラ大学（タイ）から4名、合計28名の学生が参加した。

菅沼龍夫学長との懇談やキャンパスツアーに始まり、日本語クラス、日本文化クラス、ラボ・リサーチクラスが7月14日から8月1日までの約3週間にわたって開講され、受講者はそれぞれの希望するクラスを受講した。

日本語クラスでは入門・初級・中上級の3つのクラスに分かれ、それぞれのレベルに応じた学習やプレゼンテーション等が行われ、日本文化クラスでは茶道や華道、着付けなど日本の伝統文化体験を実施した。ラボ・リサーチクラスでは、受講生が希望する農学系、工学系、医学系の研究室に配属され、少人数で研究指導を受けた。また、週末には、ホームステイや祭りへの参加を通して、日本人学生や地域住民と交流を深めた。

閉講式では伊丹副学長（国際連携センター長）から受講者一人ひとりに修了証書が手渡され、「宮崎のよい思い出を友人やご家族へ持って帰ってください。また、今回のプログラムでの出会いを大切にしてほしい」と挨拶があった。

チューターとして参加した宮崎大学学生にとっても受講者から刺激を受け、相互に交流を深める有意義な機会となった。

#### Welcome Address by President Suganuma

菅沼学長挨拶



#### Closing Ceremony

修了式（受講者、教員、チューター）

## 2. Message from Instructor 担当講師報告

Japanese Language and Japanese Culture Classes

日本語・日本文化クラス

### \*Course Title: Basic Japanese I

Course Instructor: Ms. MISTUISHI Kimiko

担当科目：基礎日本語 I

担当講師：満石貴美子

基礎日本語 I は、初めて日本語を学ぶ学生のためのクラスでした。初日は、異文化に飛び込んだことに対する不安そうな表情が多くみられましたが、日を重ねるごとに笑顔が増え、少しずつ日本語を使った発話が聞こえるようになりました。休み時間に、つい先ほど授業で学習した表現を使ってチューターに話しかけているのを目にしたときは、大変嬉しく思うと同時に、皆さんの熱心さに感心しました。また、最終日の発表会は、素晴らしいものでした。プログラム期間中に学習した日本語表現には限りがあり、滞在中の出来事や出会った人々に対する思いを話すことは、決して簡単ではなかったと思いますが、どの発表も大変よく準備されていましたし、その思いは十分に伝わってきました。「3週間で日本語で発表できるようになった」、「日本語で日本人と話せた」今回の体験を忘れずに、そして、今後も日本語の学習を続けてくれることを願っています。



### \*Course Title: Basic Japanese II

Course Instructor: Ms. HAN Suyeon

担当科目：基礎日本語 II

担当講師：韓壽燕

日本語 II では、「自分の話したいことを日本語にできるようになる」ことを目標に、主に実際の話題を取り上げ会話の練習をしました。前半の授業では、ホームステイや宮崎大学の学生たちとの交流を念頭において、主に自己紹介を中心に自分の国や大学の話題を取り上げ、それに必要な語彙や文型を覚えてもらいそれぞれの話したいことを日本語で表現できるようにしました。プログラムが進むにつれ、話題は日本文化の体験授業や実際に宮崎で見たもの、食べたもの、おもしろいと感じたこと、びっくりしたことなどへと広がっていきました。特に、ホームステイを終えてから迎えた週明けの授業では、週末の経験をわれさきにと熱く話してくれ、その楽しさと興奮がひしひしと伝わってきました。フィナーレの発表では、宮崎でのさまざまな体験、それを踏まえての自国との文化比較やお国自慢など、それぞれの話したい話題を日本語でいきいきと語っていました。教師の想像をはるかに超えるすばらしい発表でした。お国に帰ってからも、サマープログラムで体験したことを忘れずに、楽しく日本語の勉強を続けてもらえたら嬉しいです。



## **\*Course Title: Basic Japanese II**

**Course Instructor: Ms. WADA Megumi**

**担当科目：基礎日本語Ⅱ**

**担当講師：和田 恵**

皆さんサマープログラムの修了おめでとうございます。新しい出会いや驚き、発見に満ちた3週間だったのではないのでしょうか？授業の中では、日本の四季や一年間の様々な行事について学びました。日本ならではの伝統・文化に非常に興味を持ってくださいました。また、お世話になったホストファミリーへ日本語でお礼状を書きました。実際に郵便局に切手を買に行き、局員の方に質問するなど会話練習にも積極的に取り組んでいました。日本語Ⅱでは、俳句作りにも挑戦しました。初めてにもかかわらず皆さん素晴らしい作品が完成しました。そして後半のスピーチに向けての原稿作り、伝えたい感謝の気持ちや思い出などを精一杯頑張って日本語で綴っていく真剣な横顔が印象的でした。緊張の中むかえた本番の発表では、ご招待したホストファミリーの方々が見守る中、皆落ち着いて見事な発音でスピーチを行いました。素敵な学生の皆さんと共に思い出深い夏を過ごせたことに心から感謝しております。ありがとうございました。



## **\*Course Title: Basic Japanese III**

**Course Instructor: Ms. NAGAI Noriko**

**担当科目：基礎日本語Ⅲ**

**担当講師：永射紀子**

みなさん、修了おめでとうございます。暑い暑い宮崎での3週間のプログラムを、誰ひとり欠けることなく修了できて本当によかったです。日本語Ⅲの最初の授業では、おとなしい印象を受けましたが、日を重ねるにつれ、互いに打ち解けることができ、授業での発言も活発になってきたと思います。

授業では聞いている相手が「理解しやすい日本語」そして相手を「不快にさせない日本語」を話すことを目標に課題に取り組んでもらいました。授業内容はもしかしたら難しかったかもしれませんが、しかし、難しい課題にも最後まであきらめず果敢に挑戦してくれたおかげで、プログラム終盤ではこちらから助言をしなくても、自然に相手のことを考えながら話すことができるようになったのではないのでしょうか。

プログラム最後の発表では、スライドづくりだけでなく、発表原稿の作成も丁寧に準備してくれました。聴きにきてくださったホストファミリーの方々からも、とても良い評価が得られたと思います。

3週間のプログラムはこれで終わりますが、



このプログラムで経験した様々なことを今後に生かしてもらえたらと思います。短い間でしたが、皆さんと一緒に過ごすことができるとても充実していました。また機会があったら是非宮崎に来てください。その時を楽しみにしています。

**\*Course Title: Japanese Culture A**

**Course Instructor: Ms. NAGAI Noriko**

担当科目：日本文化 A

担当講師：永射紀子

今年の日本文化は、従来の茶道・華道・書道、着付けのほかに「琴」の体験が新しく授業内容に加われました。これらの伝統的な日本文化の授業では、実際にその分野を専門にする先生方から教えてもらうことで、実技そのものだけでなく文化背景や作法、そして所作の意味についても深く勉強してもらうことを目的としています。



実際に参加している学生も体験自体が楽しいのはもちろんですが、授業を受けることによって日本文化への関心をより深いものにしてくれたものと思います。また、日本文化のクラスでは、大学生のチューターとの交流も盛んにおこなわれました。留学生の皆さんとチューターとが協力してものづくりをするなどの授業も、サマープログラムでは多く実施されています。日本文化の授業ももちろんですが、授業にかかわる多くの人との交流を通じて、日本文化への理解をさらに深めてもらえればと思います。

**\*Course Title: Japanese Culture B**

**Course Instructor: Ms. HAN Sueyon**

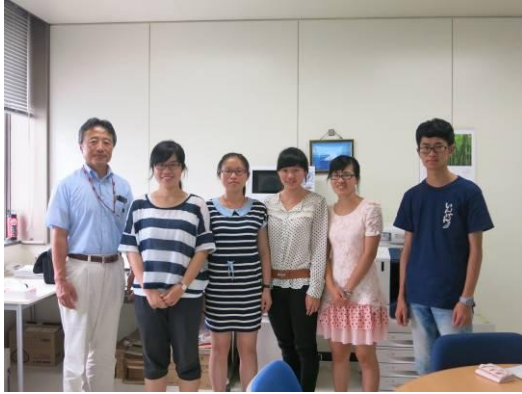
担当科目：日本文化 B

担当講師：韓壽燕



この授業では、毎年各分野の専門家を招いての茶道、華道、書道、琴、着付けといった伝統的な日本文化の体験に加え、ホームステイの準備などを通して日本の日常生活の文化を学んでいます。今回はそれに先立って「日常のあいさつ」という授業を設け、日本文化としての「日本語」を体験してもらいました。日本文化Bの受講生は日本語学習の経験が全くない人が大半で、今回のプログラムでも日本語の授業を受講しないコースの学生も相当数いるため、基本的なあいさつを通し「日本語」そのものをゲーム感覚で体験してもらいました。最後にみんなで行った「すごろく」ではタスクに覚えたての日本のあいさつに加えて受講生の国のあいさつも交え、日本人学生と助け合いながら日本のゲームを楽しむ様子が見受けられました。これを機会に日本文化への興味、関心をさらに広げてもらえればと思います。

今回のプログラムでも日本語の授業を受講しないコースの学生も相当数いるため、基本的なあいさつを通し「日本語」そのものをゲーム感覚で体験してもらいました。最後にみんなで行った「すごろく」ではタスクに覚えたての日本のあいさつに加えて受講生の国のあいさつも交え、日本人学生と助け合いながら日本のゲームを楽しむ様子が見受けられました。これを機会に日本文化への興味、関心をさらに広げてもらえればと思います。

**\* Faculty of Medicine Course****Course Title: Translational Research of Bioactive Peptides****Course Instructor: KATO Joji**

Five Chinese students visited the Division for

Identification and Analysis of Bioactive Peptides (DIABP), Frontier Science Research Center: two were from Shanghai Jiao Tong University School of Medicine, one from Kunming University School of Medicine, and two from Wenzhou Medical University. In the DIABP laboratory, they learned and

discussed translational research of bioactive peptides, which has been done so far in Miyazaki Medical College and University of Miyazaki in the last three decades. The subjects were the natriuretic peptide family (ANP, BNP, CNP), guanylin, ghrelin, and adrenomedullin. It was nice for them that they took the lab research course after they studied what peptide hormones are in their medical schools in China. First, they seemed surprised when they were told how ANP was discovered in the cardiac atrium and that both ANP and BNP have been used as therapeutic and diagnostic agents for patients with heart failure not only in Japan but also in the Western countries including the US. After learning the biological actions of guanylin and ghrelin, the students were asked what diseases we might be able to use these peptides for. Although there was some discussion over this question, they got nice answers by themselves: guanylin for constipation and ghrelin for anorexia nervosa. Those Chinese students appeared interested very much in the process of translational research from discovery of bioactive peptides to clinical application as therapeutic or diagnostic tools for patients with various diseases. Finally, they should have got clear image about what has been done and what is going on in translational research in University of Miyazaki.

**\*Course Instructor: SEKITO Tomoo, Faculty of Engineering**

**Course Title: Environmental protection technology for solid waste management and waste water treatment**

From July 15 to 30, 2014, Ms. Sofya Bylinovich from Ostwestfalen-Lippe University of Applied Sciences, Germany, joined our laboratory as an UOM summer program student to study about solid waste management and waste water treatment.

We provided two kinds of learning experiences. On the first course we learnt the method to measure

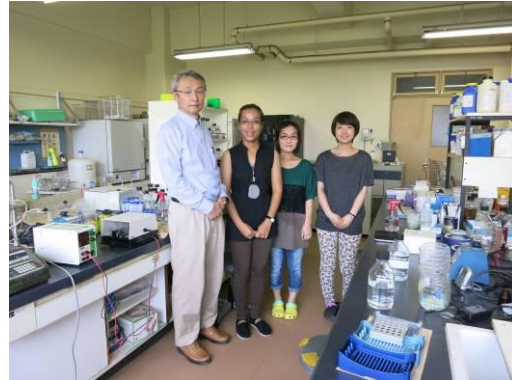
environmental water quality. We took water samples from a waste water treatment facility near the campus and a river water along the facility. We measured total nitrogen, total organic carbon, and ammonium nitrogen concentrations in the water samples. We evaluated about the data derived from the measurement and the effect of the organic materials on ecological system. As a second course, we provided an excursion to four different solid waste management facilities and one waste water treatment facility in Miyazaki. We learnt a very advanced and comprehensive MSW treatment practice at Eco Clean Plaza Miyazaki and organic waste recycling method at Kunitomi composting plant. We visited Shiokawa Sangyo Ltd. and Minami Kinzoku Ltd. to see industrial waste recycling and learn how to recycle waste plastics, home appliances and waste paper. From this excursion program, the student learnt typical Japanese environmental protection technologies. On the final day of the program, Ms. Sofya gave a presentation about solid waste management situation in Germany. After the presentation, we had open question and answer time with the students in my laboratory.

During this program our laboratory students supported her very well. They made a party for her at a restaurant near the campus and enjoyed Miyazaki's specialty of foods and drinks. We also took her to a hot spring. This program provides a good opportunity for young students to communicate with people of different cultures. I hope Ms. Sofya and my students make use of this experience to take interest in international activity in future.



**\*Course Instructor: Prof. ITAMI Toshiaki, Faculty of Agriculture**  
**Course Title: Fish and Shrimp Health Management**

Ms. Pranama Nedrangsee (first year of doctor course student) was the seventh student to accommodate in my lab from Prince of Songkla University, so we could discuss about the details of her research subject beforehand and have finally completed our training successfully with high quality. In the course of this program, she obtained the new technique for biotechnology. For the future collaboration,



we need to research on the needs of PSU to broaden and enhance our partnership through this program, welcoming more students to UOM. Our master course students will see her this coming November in PSU as a student exchange program between PSU and UOM supported by JASSO and Faculty of Agriculture, UOM.

**\*Course Instructor: Prof. AKASHI Ryo, Faculty of Agriculture**  
**Course Title: Biotechnology and Plant Genetic Resources**



In this year, we accommodated three students from the Prince of Songkla University for the summer program. Initially, we had conducted a detailed discussion about their research subjects. Thereafter, the students were taught about genetic transformation of plants and cloning target genes. During the course of the program, the students were upbeat and were positively inclined to work with eagerness in

the laboratory. I hope and earnestly look forward to hearing from them about their accomplishments in their university.

Moreover, Chan-Ui Sanlaya, who was one among three students, remained and continued to attend the training program on the conservation, management and use of genetic resources, which is part of the summer program held from the 4<sup>th</sup> to the 28<sup>th</sup> of August. As such, she completed a total of 7 weeks of stay in Miyazaki. Although the program might have been difficult, she certainly had learned many things and acquired new skills throughout her training. Additionally, she was able to build good friendships and was active in exchanging ideas with her fellow trainees from Korea, Indonesia and Japan. Eventually, the newly built friendship among the student trainees has for sure deepened throughout the summer program.

### 3. Japanese Culture, Field Study 日本文化クラス、フィールドスタディの様子





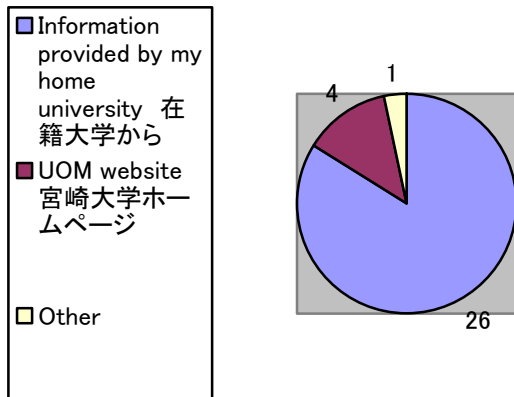
## 4. UOM Summer Program 2014 Evaluation by Participants

アンケート結果 (参加者 28 回答者 28 回収率 100%)

### 1) Pre-Arrival 来日前の手續について

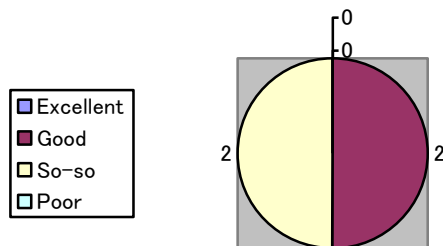
① How did you learn about the UOM Summer Program?

どのようにしてサマープログラムの実施を知りましたか?



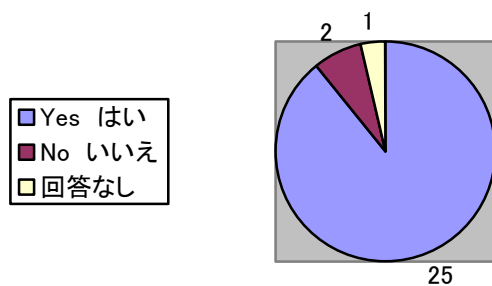
→ホームページを選んだ方:

How do you think about the website? ホームページについて



② Did UOM staff provide enough information?

スタッフからの連絡は十分でしたか?



③ Comments 意見・感想:

- The whole complete schedule is made in advance. And information of dormitory is provided. But there are still some points in need of clarifying.
- GSO staff provided enough information and took good care of us. Their service made our study in UOM convenient and comfortable.
- Everyone is friendly and helped a lot.
- スタッフたちがとても親切にしてくれてとてもよかった。有り難うございます。
- Activities are very colorful , organizer are so considerable.
- They are very patient and kind.
- It's the first time we came here ,so we are filled with surprise .
- Good.
- 宮崎大学の皆さんは親切で有り難うございました。
- More information or contact.
- Very convenient and the arrangements since our arrival were proper and nice.
- UOM staff provide enough information and tell about everything before start activity each day.
- Information was enough but sometimes it was miss leading . For example., I did withdraw cash in Miyazaki post office with my visa card. So I did not have to bring cash yen for the whole stay.
- 情報を見ることが難しかった、深い情報はなかったなので、行く前に情報を調べるのが大変だった。
- I think UOM summer program is good program. Because I gave many everything , such as new friend, culture and knowledge.
- I think this program is a very good for me. Because I have a new experience ,new activity that have not do before ,I have new friend . Thank you very much.
- 楽しみです。
- 宮崎大学のスタッフさんたちは非常に親切だから、心から感謝の気持を持っています。
- UOM staff are very very willing to help me. But I think if I could get the greeting (acceptance) email earlier . It would be greater..
- 有り難うございます。
- 他の意見は無いです。
- 在籍大学からの情報が足りなかったです。

2) Coursework 講義等について

Please fill in your comments and impressions about each of the courses indicated.  
講義について意見や感想を書いてください。

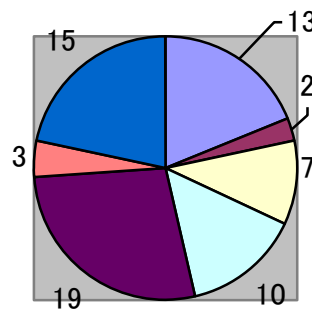
- Japanese Language Class 日本語クラスについて:
  - The teacher really taught us how to speak Japanese . But due to the short term, those who have no basic knowledge of Japanese may gain less.
  - Teachers are really nice. Each class was very interesting .And I have learnt more about Japanese language , such as vocabulary and grammar. This class gives me motivation to learn Japanese better.
  - Teacher are nice . We chatted a lot. My Japanese improve a lot! It will be better that teacher can use some English to explain the difficult conversation.
  - いろんな日本語について習えてうれしかったです。でもすこし、静かすぎて楽しみはあまり感じなくてちょっと。でも、すごく有益な時間でした。有り難うございます。

- We learn the basic Japanese Languages and at least we can do a simple introduction of myself in Japanese , and even ask the way.
  - The teacher is really nice and patient . We have learned some useful Japanese expressions.
  - I knew little Japanese before I came here, so it's a bit difficult for me. But teachers are kind. I think the class is too short.
  - ちょっとむずかしいです。
  - Friendly teacher, but the knowledge taught may be a little useless.
  - Hope that the teacher could provide us with some more basic knowledge.
  - 先生が優しくていろいろ教えてくださいました。
  - OK, More review.
  - The teachers are nice and caring and taught us the basic useful phrases in Japanese.
  - We could play more role games and team games for beginner level.
  - 会話よりただ大学の日本語授業みたいでした。今回の授業は韓中日文化には合わなかったと思います。ヨーロッパの国だったら合うと思います。
  - おもしろかった、先生はとても優しくかったです。
  - 日本語らしい日本語を勉強しているので、役にたったと思います。
  - もっとさまざまなことを学びたいです。
  - 日本語の能力はあがりました。有り難うございました。
  - Although it's really short and difficult to improve Japanese skill only just in 3 weeks, but I did learned it from JLC.
  - 先生の説明がわかり易くて楽しい授業でした。
  - 先生も親切だし優しいし、よかったですと思います。よかったです。
  - いろんな状況での話し方などを学ことができよかったです。
  - Very good and fun. I learned much Japanese.
  - I'm interesting in this class. Because in this class, I will spoke Japanese in first time.
- Japanese Culture Class 日本文化クラスについて:
  - To experience is the topic.
  - Japanese culture is interesting and wonderful .Japan is a country full of charm.
  - 初めてのいろんな経験ができてとても楽しかったです。有り難うございました。
  - Very interesting.
  - I don't have this class.
  - 面白いです。
  - Interesting but not like a formal course.
  - Wonderful ~
  - 書道、茶道、琴、華道などを体験して初めてですから貴重な思い出になりました。
  - Hope more classes.
  - Interesting and really gave us the chance to know some Japanese culture and its beauty.
  - Japanese culture class is very interesting for me because I never do something before I come here. I never speaking , writing and listening Japanese language but I come here I can speak is a little bit and have a good experience.
  - It was fun.
  - いろんな伝統的な日本文化を分かることができよかった。それ以外現代の文化もしたらもっとよかったですと思います。
  - I think Japanese culture class give many everything . I give about culture of Japan and learning a new good.
  - I think this class is a good course and has a very good activities.

- ・楽しかった、おもしろかったです。・内容は豊富だと思います。
- ・おもしろかったです。日本の文化を簡単にたいげんできていいです。
- ・面白かったです。異なる日本の風情を体験しました。
- ・楽しいでした。
- ・色々な文化について学ことができよかったです。
- ・本で読んだり授業で聞いたりしたことを直接やってみることができてとてもおもしろかったです。
- ・ Totemo Omoshiro Katta desu.
- ・ This class is nice time because I can something don't have in Thailand.

※Please choose the three most appropriate classes, ranking 1 to 3, with 1 being the highest rank.

好きな授業を3つ選び、好きな順番に1-3まで順位をつけてください。

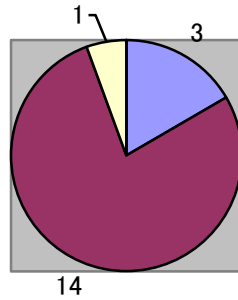


- ・ Lab and Research Class ラボ・リサーチクラスについて:
  - ・ In this class I have been shown the most frontier science in medicine in Japan, which really broadens my horizon. It is my honor to attend this class and meet so many good teachers.
  - ・ I learned a lot in reach class. I like the research, it is interesting.
  - ・ Teacher are so nice and patient with all of us.
- And we learn a lot of medical knowledge and techniques here.
- ・ Arranging different lab departments is really good.
  - ・ It's very interesting and useful except some Labs didn't prepare much material for our class.
  - ・ I can exchange experience of laboratory with sense.
  - ・ Totally enjoyed.
  - ・ I came here in Japan . I give many knowledge in Lab such as PCR technique, Cloning gene, Purification technique and learning about design primer.

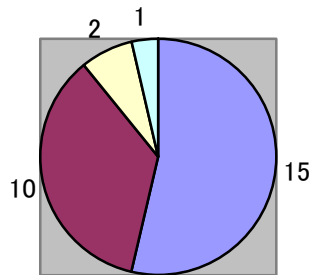
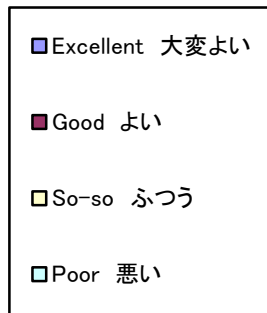
- In this class , I had learn about molecular technique, that I have to use in my laboratory . I think it is a very good job.
- This class is great for me. I know new Technique for applied to my research.

### 3) Field Trips フィールドトリップについて

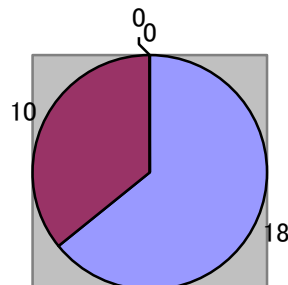
① 7/18 –Tea Ceremony and Flower Arrangement 茶道、華道



② 7/25 – Aoshima, Udo Jingu Shrine, Obi Castle Town 青島、鵜戸神宮、飢肥城下町



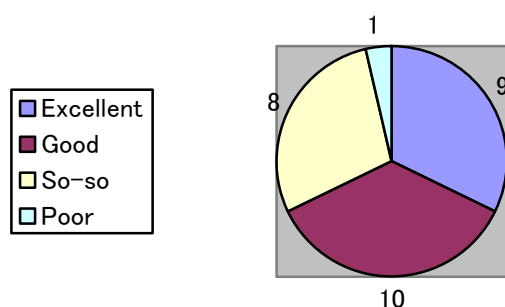
③ 7/26 –Matsuri Erekoccha Miyazaki まつりえれこっちやみやぎき



\*Comments 意見・感想:

- During the field trip we went to some sight and experienced some traditional activities, but as for the ②, time was so limited .
- Japanese culture is charming and attractive . I really enjoyed myself during these 3 trips.
- Field trips are excellent. I wish it will be longer.
- 初めてのいろんな経験ができてとても楽しかったです。
- We enjoy ourselves very much during the field trips, beautiful sights and delicious food especially the nice citizens here impressed me most.
- Interesting.
- 日焼けが強かったです。
- The time was not enough but generally ok.
- いっぱい遊びました。本当に楽しかったです。
- Give us more time to visit.
- I like Japanese culture.
- 大変良かったです。忘れないと思います。
- この中で一番好きなのはまつりです。にぎやかな宮崎の町を見て感動しました。
- 景色は美しかったです。うれしかったです。
- I recommend 高千穂峡 for field trip.
- 天気が涼しかったら良かったのに。
- えれこっちゃんの参加は一生忘れられないとてもおもしろかった思い出です。
- Tanoshi katta desu.

#### 4) Workshop and BBQ ワークショップ、BQ について



\*Comments 意見・感想

- The weather and number of people brought much trouble. It seemed that we were always stuck in the long term waiting.
- Thanks to Ito sensei and other working staff for letting us have fun in this rainy day.
- It is a good experience and I will never forget.
- Everyone enjoy the BBQ, chatting with people around the world is great . Food is delicious.
- 人が多すぎてあまり食べることができなかった、それがちょっと・・・

でも楽しかったです。

- Because of the bad weather we didn't eat too much. But thanks a lot to the organizers who spare no effort to make food for us.

- Food was hot so tasty.

- Maybe because of the bad weather , but I truly thank the teachers prepare for it.

- 食べ物は少したりなかったです。

- To be honest , I 'm not eat enough food in the BBQ, and so do my friends.

- Maybe the students could participate in the process of BBQ.

- 伊藤先生が大変苦勞しました。有り難う。

- Teachers are kind ,but food is not enough.

- Exciting and delicious.

- It is very happy and fun.

- 天気のせいもありますが、BBQの雰囲気全然なかったです。肉も中は生だったし、500円の参加費もあったのに、おもしろい Program がなかったのが残念でした。

- Good Food.

- 食べただけ、恥ずかしいです。

- 先生、有り難う。

- お疲れ様でした。BBQは最高でした。食べ物はおいしかったです。

- Because of heavy rain we couldn't really enjoy ourselves. Next time if it rain also,

prepare earlier.And the foods are enough to feed everyone. 残念でした。And I didn't know that we needed to pay 500yen.

- 肉の中が生でした。

- 雨が降らなかつたらいいと思います。

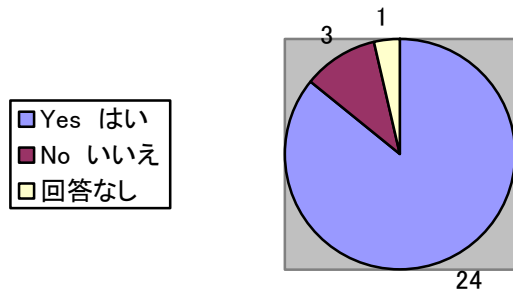
- もっと早くみんなが親しくなる機会になればよかったです。

- Oishi Katta desu

- Next time, piece of chicken is smaller than this year please.

## 5) Tutors チューターについて

- ① Did you receive enough support from the tutors?  
サポートは十分でしたか？



- ② Comments 意見・感想:

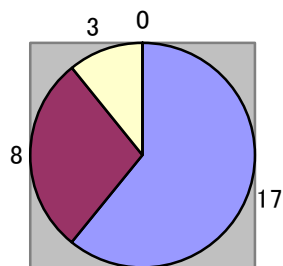
- Some tutors are really nice and gave us much help( Thank you Kei さん!)But unfortunately, I've never seen my tutor.
  - My tutor Michika is really kind and nice. Every time I went into trouble. she always tried her best to help me. I can't say more thanks to her
  - Tutors are friendly and always be helpful.
  - なつこちゃん、まなちゃん、本当に有り難う。
- 試験中なのに私達をサポートしてくれて！もう、わかれの時間ですが、また、連絡してね。
- My tutor Yuriko is a beautiful and lovely girl. She takes good care of me all the time.
  - Really kind and nice.
  - I think tutors to be more forwardly will be better . Anyway I like tutors very much.
  - Tutor さんはとてもやさしい人です。本当に有り難うございます。
  - They do it well ,thanks a lot.
  - Tutors have tests and classes, so may not have enough time.
  - いつも助けてくれて有り難う。
  - Keep in contact before going to Japan.I have no chance to stay with my tutor. Because she rarely showed up. But other tutors were fine.
  - Not only my personal tutor but also other tutors have been very friendly to us and I think we have actually become friends but more than just two sides from the summer program.
  - Tutor is very kind.
  - Maybe it depends on the person but it would be easier to communicate with the tutor of the same gender.
- Also the tutor could not answer some of my questions which we must .  
For example how to connect the internet in the University and in Domitory.
- ふつうでした。Yes か No かよくわかりません。いつも忙しいただ友達みたいじゃなくて先生みたいでした。チューターにとっての仕事だけやるのが私には悪かったです。ここに日本語を学ぶために来る学生は手伝う人は必要ありません。日本人の友達を作りたいです。一緒に遊んで日本語も勉強して分からない事があったら教えてくれるそんなチューターがほしかったです。
  - They are so kindness and intend to give knowledge for me .  
And they have high power to teach me.



- ・Kさんはよくしてくれました。中国学生といろいろなところを案内してくれました。本当に有り難うございます。
- ・広子さんは明るくてとてもいい人なんです。有り難う。一生忘れられない友になりました。
- ・有り難うございました。チューターさんに出会ったことは楽しかったです。
- ・I am very surprised about the summer program really give us the tutor .  
Excellent .  
I really enjoy myself with tutors.
- ・なつこ、まな、有り難う。
- ・全部いいです。
- ・本当に有り難うございます。
- ・Very good and social tutors. I had much fun .

## 6) Lodging 宿舎について

①



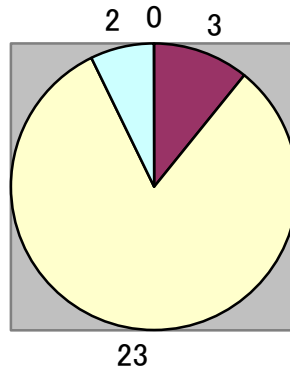
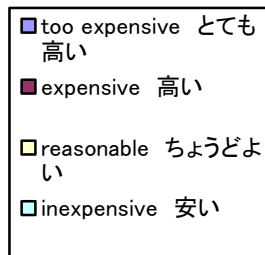
② Comments 意見・感想:

- ・ The environment of dormitory is just great! (except for the crowd refrigerator .)
- ・ Seiunso is a good place to live in. The environment is quiet and clean and I really enjoy it.  
With its location near the lab building. It's convenient for us have class there .
- ・ Dormitory 青雲荘 is clean and quiet . If we can cook in dormitory, it will be excellent.
- ・ 床にちょっとのほこりも無く、全部 excellent でした。クーラーもいいし、トイレトーパーも
- ・ Dormitory is excellent , equipped with all kinds of facility , the dormitory provides us a good environment to learn each other and we all live a comfortable life here .
- ・ Kiyotake dormitory is much better than 青雲荘.
- ・ Very comfortable and convenient .
- ・ Just a little noise from the next.
- ・ 毎日掃除してくれて皆様有り難う。
- ・ The dormitory is good but it a very far from super market and restaurant .
- ・ Just two points missing to be an excellent Domitory ; dirty windows and dust in the corners.
- ・ 虫が多かったのが女性が住むのはちょっときらいかなと感じました。
- ・ It is very comfortable for me. Thank you very much.
- ・ 青雲荘で冷蔵庫など電子機械はちょっと少ないと思います。
- ・ 東迫夫妻は優しくて親切な人です。こまかいところで私に感動されました。大学の寮はきれいだと思います。

- If the dormitory can provide cleaning equipment, it will be great.
- クーラー 万歳
- Small kitchen for too many people.

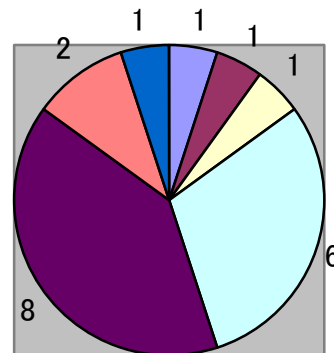
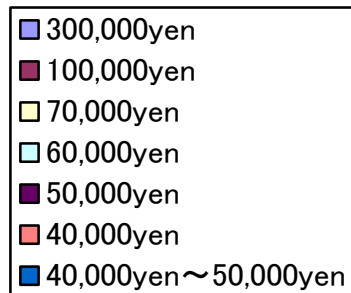
7) Program Fee プログラム費用について

①



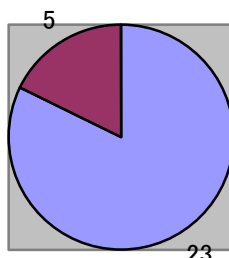
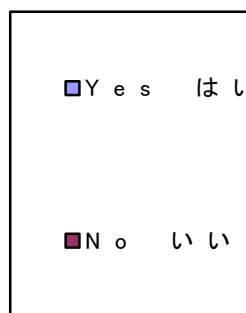
② How much would you be willing to cover with your own money?

いくらまで自己負担してよいと考えますか？



## 7) Study in Miyazaki 宮崎への留学について

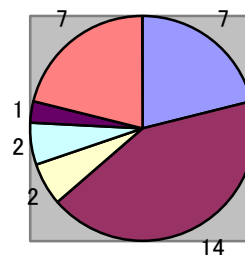
- ① Would you be interested in studying at UOM as an international student?  
宮崎大学への留学に興味がありますか？



If no, please tell us why 「いいえ」の場合、理由

- I just didn't think about it.
- I can not speak Japanese ,but if I can ,I will.
- I 'm not so familiar with UOM's teaching level and lab equipment
- No interest ,no reasons
- 大学4年生だしまだ日本へ留学したいなという気持ちがないです。
- 実は今迷っています。もともと就職すると決めましたが、宮崎大学に来て、大学院に進学したいと思います。今、考え中です。

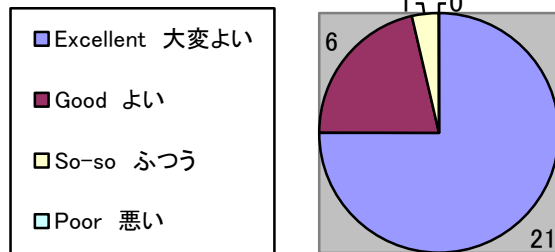
- ② What kind of program would you consider studying / researching at UOM?



## 8) Your opinion of the Summer Program overall

プログラム全体についての評価、意見・感想を記入してください。

①



② Comments 意見・感想:

- Most of the program is well planned and teachers, tutors and those who provide service helped us a lot. And I hope teachers can improve in English.
- In the program, through only 3 weeks, I have met really nice GSO staff who are warmhearted & responsible ; I have met friends from China, Korea, Japan etc who are friendly and interesting.  
And I enjoy food in Miyazaki. In a word, this program is wonderful..
- This Summer program is just wonderful . I really enjoy the class and the excellent field trip . たのしかったです ! Thank you.
- なによりもいろんな新しい経験をすることができてうれしかったです。
- The summer program is a great success . I think everyone enjoys himself during the time in Miyazaki. But I'd like to come up with a suggestion that the school probably should provide some meals for us students. It's quite inconvenient for us to find food around the campus.
- We have experienced every aspects of Japanese life and campus life . It was really happy and enjoyable. Tow-day weekends will be good.
- Teachers here are all warmhearted and friendly. Thank you very much.
- この1ヶ月大変お世話になりました。Staffの皆さん、有り難うございます。あなた達のおかげで大切な思い出ができました。本当に楽しかったです。日本の魅力を実に感じました。
- I'm not learn much from the class , but I see the Japan by my eyes .For me Miyazaki represent the first impression of Japan . I learned a lot. Thank you..
- 私の人生の忘れられない思い出になりました。本当に有り難うございました。次に会う時を楽しみにしています。
- Teachers are responsible. Thank you very much.
- The staff and the tutors are nice, the surroundings are nice. Japanese both language and cultural are interesting and useful. Homestays have a pleasure, Field trip (especially matsuri ) gave me a really good time.
- I've really missed during my stay personal mobility . Money on the bus card is very good, but I cannot use it when I don't have a map of city and a detailed map of bus roots with clear time table even if they are in Japanese.
- 全体的によかったのですが、やはり時間が3週間しかなかったので短い時間にいっぱい

やるのが大変そうでした。

- 楽しかったです。有り難うございました。

- このプログラムに参加して良かったです。

- **Totally above my expectation!! Wonderful experience!! Thank you!!**

- 全般的にとっても良かったです。みんなの配慮でいろいろな思い出を作ることができました。

このプログラムのおかげで宮崎大学はもちろん宮崎が大好きになった。また、どんなかたちでも来たいと思います。3週間本当に有り難うございました。

- **I will never forget this 3weeks.**

## 5. UOM Summer Program 2014 Evaluation by Tutor

アンケート結果（チューター26 回答者 20 回収率 77%）

### 1) 身分・担当について

該当する項目にチェックしてください。

#### ① あなたの所属は？

- 教育文化学部（8）  医学部（1）  工学部（1）  農学部（3）  
 教育学研究科（3）  医科学看護学研究科（0）  工学研究科（1）  農学研究科（4）  
 医学獣医学総合研究科（0）  農学工学総合研究科（0）

#### ② 担当コースは？

- 日本語コース（12）  ラボコース（8）

### 2) プログラム応募について

#### ① チューターに応募したきっかけは？（複数選択可）

- 掲示板でチューター募集ポスターを見たから（4）  
 国際連携センターホームページでチューター募集ポスターを見たから（2）  
 教員の紹介（6）  
 GSO の紹介（3）  
 友人に誘われたから（1）  
 留学に興味があったから（2）  
 国際交流に興味があったから（10）  
 英語による専門分野の授業・実験に興味があったから（0）  
 日本語教育に興味があったから（2）  
 外国人の友達が欲しかったから（3）  
 その他：（3）
- ・ GSO のメーリングリストからのメールでも知りました。
  - ・ メール
  - ・ 前回参加したときに掛け替えのない友人や思い出を得ることができたから

#### ② スタッフからの連絡は十分でしたか？ はい（18） いいえ（2）

#### ③ 意見・感想

- ・ 活動について、少し不明な点があったりしました。GSO に聞きにいたり、チューターリーダーさんに聞いたりすることで解決しました。
- ・ とても楽しかったです。いつもやさしく対応していただきまして本当にありがとうございました。
- ・ 外国の生徒と関わるということで言葉や文化の面で多くの不安があったが国際連携センターの方や周囲の友人のお蔭で無事行うことができた。
- ・ GSO の方々も忙しかったと思いますが、連絡して頂いただけで幸いです。急な連絡でも職員の方達の忙しさに比べたら、大丈夫でした。
- ・ グループの皆さんが積極的に留学生と機会を設けて交流してくれたので、前回と比べてリーダー一人の負担が軽減されて本当に助かった。留学生だけでなく、他のチューターの皆さんとも交流する機会ができ、今回応募してよかった。
- ・ 時間やスケジュールなど、事細かに、また前日など直前に連絡などを頂き、とても活動しやすかったです。

- ・こまめに連絡を下さって予定が把握しやすかったです。
- ・場所が記載されていなかったり、詳細なタイムスケジュールがわからなかったりした。

### 3) 留学生とはどのくらいの頻度で合いましたか？（複数回答可）

#### A. 日本語コース

- 毎日 (2)  2日に1回 (3)  1週間に1回 (4)  週末だけ (0)  平日のみ (0)  
 日本語クラスの時間帯 (3)  日本文化クラスの時間帯 (3)  授業終了後 (2)  
 その他 (1週間に2回) (1)

#### B. ラボコース

- 毎日 (4)  2日に1回 (0)  1週間に1回 (1)  週末だけ (0)  平日のみ (1)  
 日本語クラスの時間帯 (1)  日本文化クラスの時間帯 (1)  授業終了後 (1)

### 意見・感想

- ・留学生のみんなはすごく親しみやすく、チューターも関係なく国ごとのグループも越えて仲良くなることが出来ました。
- ・授業自体は週に1回程度くらいしか参加することができなかった。また、琴の体験では私自身も体験をしたことがなかったため技術的な面はサポートすることはできなかった。だが留学生と一緒に授業を受け交流することでより親密な関係を築くことができた。
- ・レポート期間と重なったため十分な時間を留学生と過ごすことはできませんでしたが、授業外での交流も頻繁にあったため、非常に充実した日々を過ごすことができました。
- ・留学生たちと綾へ行ったり、他の正規留学生とのビアガーデンへ行ったり、お祭りに参加したりなど多くの体験を一緒にできました。
- ・授業やフィールドスタディに参加することで、定期的に顔を合わせる機会を得ることができた。もう少し昼食や夕食なども一緒に取ることができたらよかったと思う。
- ・仕事などの都合で、授業などにあまり参加できずもうしわけありませんでした。
- ・毎日一緒に実験をして専門用語の英語の言い回しなど勉強になりました。
- ・留学生に日本語を教えることができ、貴重な経験ができたと思っています。また、英語で日本語の意味を教えたり、自分自身の英語を使えることができて良かったです。
- ・留学生の授業と自分の授業がかぶって、授業の補助になかなかいくことが出来なかったのが残念でした。
- ・GSOで授業（日本語）だと、遠くて行けない。（移動時間が掛かる）図書館だったらもっと日本語の授業に参加できた。

### 4) 留学生との交流について

#### ① 留学生とどのような交流をしましたか？（複数回答可）

- 学習補助 (15)  日本語指導 (1)  フィールドスタディへの参加 (7)  
 食事に行った (19)  遊びに行った (13)  
 その他：

( ) (2)

### 意見・感想

- ・フィールドスタディには参加することが出来ませんでしたが、平日の放課後や休日を利用して交流をすることが出来ました。
- ・留学生たちと綾へ行ったり、他の正規留学生とのビアガーデンへ行ったり、お祭りに参加したりなど多くの体験を一緒にできました。
- ・留学生と食事や遊びに行ったり、授業のお手伝いをしたりすることで、徐々に担当の留学生以外とも打ち解けることができた。一緒にお祭りで踊ったこともいい思い出となっ

た。

- ・困ったことは特にありませんでした。
- ・わずか三週間という短い時間で、日本語の上達はすごく、とても感心すると同時に、わが身を振り返るきっかけにもなりました。
- ・一緒に食事をしたり遊びに行ったり、思い出を作ってあげられたかなと思いました。
- ・留学生と毎日学食でご飯を食べました。中国について様々なことが聞けて面白かったです。
- ・一番仲良くなれたのは食事に行った時と、えれこっちゃみやぎきに参加した時だと思います。

名簿では日本語の経験なしと書いてあった人が、日本語を少し話せるようになっていてすごいと思いました。また、私は中国の方のチューターをさせていただいたので、中国語を教えてもらいました。

チューターについて人ではない人ともメールアドレスを交換することが出来たので、これからも連絡をとって仲良くしたいです。

- ・自分の英語の話しなさに改めて気づきました。話すときに詰まってしまうことが多々あり、相手に気をつかわせてしまったことに反省しました。
- ・課題の作成補助をした。遊びに行くのはネタに限界があるので、課題の作成などがあると時間つぶしになって良いと思う。

## ②大変だったこと、困ったことはありましたか？（複数回答可）

- コミュニケーションが上手く取れなかった（3）  留学生が日本語を話せなかった（1）
- 自分の英語が通じなかった（7）  授業・試験のため留学生と会う時間が作れなかった。（11）
- 文化の違いを感じた（2）
- その他：（1）
  - ・時間を守らないことが多かった。

## 意見・感想

- ・定期試験前のため、定期試験やレポートとサマープログラムとの両立を考えなければいけませんでした。
- ・留学生と一緒に食事に行ったり遊びに行ったりすることでいろいろ話すことができた。また私の担当する留学生は流暢な日本語をはなすことができたためコミュニケーションを取るのに困ることはなかった。遊びに誘うとき楽しんでくれるかなという不安はあったが一緒に楽しく過ごすことができた。
- ・強いて言えば授業や試験のためになかなか時間を十分に調整することが私自身できなかったのもそこは改善点として上げさせて頂きます。
- ・フィールドスタディに参加した際に、留学生に対するチューターの数が非常に少なかったため、自由行動の時、あらゆる留学生に対応できなかった。調子が優れない留学生が出たときに、もう少しチューターが多ければ連絡・対応等スムーズに進んだのではないかと感じたので、次回の改善点の参考になればと思う。また、グループ内でほとんど活動に参加していないチューターがいて、このプログラムに参加したからには自分の担当する留学生だけでも責任を持って活動してほしいと感じた。
- ・発音の違いで伝わらなかったりしたことが少し困りました。
- ・授業と重なっていて会えない日もありました・・・。毎年テスト前に行われるのが学生にとって少し大変なところですよ(>\_<)
- ・授業や実験があり、あまり時間がとれないので、移動時間のかからない場所で留学生のために場所（放課後課題等）がサマプロ専用であったらいいと思いました。



③自分が担当する留学生以外の留学生とも交流しましたか？

はい（20） いいえ（0）

理由：時間がなかった 興味がない その他（ ）

④サマープログラム終了後も、留学生とメール等で交流をする予定はありますか？

はい（19） いいえ（1）

5) プログラムに参加して得た物はありますか？（複数回答可）

英語の勉強になった（13） 日本語を教える勉強になった（7） 国際交流に興味を持った（8）

海外旅行に興味を持った（8） 海外留学に興味を持った（6）

※海外留学に興味を持ったと答えた方へお聞きします。

もし海外留学をする場合、どういった形で留学したいですか

大学院への留学（3）

半年～1年の短期留学（1）

大学間交流協定校への交換留学（2）

1ヶ月程度の専門分野に関するサマープログラム、短期研修、セミナー等（2）

1ヶ月程度の語学研修（2）

1～2週間程度の交流プログラム（1）

海外の大学・研究機関へ研究員として勤務する（2）

意見・感想

- ・今まで頭ではそのようなことはわかっていたが普段全く関わることがないため実感がなかった。だがサマープログラムを通していろいろな人がいるということを実感することができた。サマープログラムを通して国際状況や海外の様子についてももっと積極的に知っていきたいと思った。
- ・サマープログラムに参加する以前から大学院留学は考えていたので、より一層その熱意というか気持ちが強くなりました。
- ・このプログラムに参加して得たものの中で一番大きなものは、何といても掛け替えのない友人と彼らと一緒に作った思い出である。彼らと過ごす中で、国籍の違いなどはほんの些細なことであり、人と人との絆は、同じ時間を共にすることで深まるのだということを実感した。これからも、彼らとの交流を続けていき、日本と彼らの国との懸け橋となりたいと思う。
- ・今までも留学したいと思っていましたが機会がなかったので、卒業するまでに短期でもいいので留学したいという思いが強くなりました。
- ・1週間～1ヶ月という短い期間の留学プログラムなら参加しやすいと思います。アジア圏だけでなく、アメリカなどに行けるなら参加したいと思う学生も増えるはず！
- ・今まで中国の人と話したことがなかったので、中国の人と話せただけでチューターをしてよかったと思いました。また、中国の人と仲良くなれたことで中国語にもとても興味がわいたので、中国語の勉強を始めました。
- ・どうゆうことに疑問をもつかで、外から見た日本を知れた。

6) サマープログラムでの経験を経て、次の事柄への変化はありましたか？

①外国や外国人との関わり方に対する考え

- ・何にでも興味をもって、質問するようにしようと思いました。
- ・アジアの国々に関心がわいた。
- ・外国人に対するイメージや偏見にとらわれることなく接することが大切だと思いました。国際関係の問題はありますが、それを意識することなく仲良くなれたことはよかったです。このような民間での国際交流から始めていき、人々の意識が変わっていけばいいと思います。各国の未来を作っていく若者が交流し、お互いについて知ることができたのには大きな意味があると思います。
- ・もっと仲よくなりたいなと思いました。
- ・今まで外国や外国人の関わるとなると緊張して距離をおこうと思っていた。だがこの経験を得て日本に来て不便なことを感じていたり大変な思いをしていたりするの外国の方なのだから日本に来てよかったと思ってもらえるよう私から積極的になれるよう頑張ろうと思った。また外国は遠いようで思いのほか近かった。せっかく外国が近くなっているのだからわたしも近づいて行こうと思った。
- ・日本へ来たからには「おもてなし」してより日本に対しての理解と距離を深めてほしいと思うようになりました。  
外国に向けて日本を発信するためにも自分自身が日本のことについてもっと勉強する必要があります。
- ・前回も、中国の留学生を担当し、全体的に大人しい印象を受けたのだが、今回は活発で行動的な留学生もいて、当然のことだが同じ国籍でも多様な人がいるのだと実感した。また、直接的に感情を表現する文化と自国との文化の差異により、留学生の態度に戸惑うこともあったが、自分の基準で相手を見てはいけけないのだということに気づくことができた。
- ・国で人を見るのではなく、人で見るようになった。
- ・異文化による違いよりも、日本人も外国人もやはり同じ人間なんだということをととても感じました。
- ・英語力はまだまだだけど、「話したい」という気持ちと「仲良くなりたい」という気持ちが  
あつたら、コミュニケーションは十分取れるんだなと思いました。
- ・言葉が通じなくても積極的にコミュニケーションを取ろうとすることで通じ合えることが分かりました。
- ・留学生たち、ほんとに元気・・・と改めて思いました。笑
- ・英語が話せなくても同じ時間を過ごすことでだんだん通じることができることを実感した。  
臆せずに接することが大事だと思った。
- ・共通言語を話せることはとても大切であることがよくわかりましたが、仲良くなるには緊張しすぎずに笑顔で話しかけることがもっと大切であることがわかりました。サマプロに参加する前よりは人に自分から話しかけることが出来るようになった気がするので少しは成長できたと思います。  
ニュースでは日本や中国との関係はよくないように思うこともありますが、サマプロに参加した中国の方は気にしていないと言っていたので、テレビやインターネットで見ることだけを信じないようにしようと思いました。
- ・実際に三週間密に関わることで、より外国人に対する理解が深まりました。
- ・元々外国や外国人と関わるのが好きですし、交流もずっと続けているので特に大きな変化はありませんでした。
- ・文化の違い、性格（国民性）の違いを感じ、いろいろと難しいなと思った。

## ②今後の自分自身の専門学習・語学学習への取り組みについて

- ・韓国の人と接して、韓国語を勉強しようと思いました。
- ・TOEFL

- ・日本語学習未経験の学生を担当させていただき、コミュニケーションは英語でおこないました。英語でコミュニケーションをおこなうのは、自分の思い通りに表現することができなくて大変なときもありました。しかし、英語を練習するよい機会になりました。普段あまり英語を話す機会がなく、英語を使う機会を持ちたいと思っていたのでよかったです。お互いの国の言語を知らなくても、英語を使えばコミュニケーションができたので、改めて英語の可能性を感じました。今後も留学生と連絡を取り、英語学習にも役立てていきたいです。
- ・英語の勉強に力をいれたいです。
- ・今回の経験を得て留学生たちの多くは日本語が流暢に話せることに驚いた。また日本語ができない留学生は英語ができて驚いた。みんな母国語以外のことが話せることにうらやましく思った。今までは外国語を使うことなんてないし、別に話せなくてもいいやと思っていた。だが留学生同士の会話はわからずみんながなにげなく話している会話を知りたい、聞いていたい、またその会話に入っていきたいと思うようになった。せっかくいろいろな人と仲良くなるチャンスがあるのに自分の語学が未熟なためにそのチャンスを潰してしまっているということに気が付いた。サマープログラムを終えて私も彼らのように会話ができるようになりたいと強く思った。だからこれから中国語、英語を中心に学習を再びはじめていきたい。
- ・継続して英語だけでなく、中国語や韓国語の学習に取り組みたいと考えています。特に英語で日本語文法や概念、ニュアンスなどを伝えられるように英語での教授法など練習、実践していきたいです。
- ・自分が担当した留学生やその他の留学生の日本語や英語のレベルが高く、授業に真摯に取り組む姿や、日本文化への理解の高さなどを見て、自分も彼らに負けないようより一層自己啓発に取り組まなければいけないと感化された。
- ・韓国語をもっと勉強しようと思った。
- ・単なる語学勉強だけでなく、相手の国の文化や習慣にも興味を持ち、理解することの大切さを改めて感じました。
- ・専門を英語で説明する前に、しっかり原理から勉強しないとすと痛感しました。英語は日常的に聞いて、話さないとすぐにまた衰えてしまうので、英語に触れる機会に積極的に参加したいなと思います。
- ・今後は文法だけでなく会話を重視して勉強したいです。
- ・これからも英語の勉強頑張っていきます。
- ・今までは語学学習といえば英語にしか興味がありませんでしたが、中国語にも興味がわいたので、これから少しでもしゃべれるように勉強していきたいです。また、英語ではライティングも大切ですが、もっと話すことに重点を置いて勉強していきたいです。また、私もサマプロのように海外の大学に行って授業を受けたり、専門の学部を見学したりしたいと思うようになりました。
- ・自身の英語力の至らなさを実感し、今後の学習に対する意欲が大きくなりました。
- ・やはり、進学・留学してもっと日本語についても外国語についても勉強しなければならぬと感じました。
- ・自分の専門には特に活かされないと思うが、語学学習には有用であった。

## 7) その他、意見・感想

- ・とても充実した3週間を過ごすことが出来ました。友達もたくさんできて、日本にいながらたくさんの違った文化を体験することができ、自分の興味の幅も広がりました。ありがとうございました。
- ・本当に目まぐるしく濃厚な3週間でしたが、非常に貴重なかけがえのない3週間でもありました。あっという間にすぎて名残惜しい思いもありますが、多くのことにチャレン

ジさせて頂ける機会をもらいお声をかけて頂いたGSOの職員の方々には感謝しています。終わった瞬間は開放感と寂しさが同時にこみ上げてきましたが、それくらい充実した日々を過ごせたのだと実感して自分の中で消化中です。留学の経験がある中で、受け入れに関してはほぼ初めてだったので、上手くいかないことも多々ありましたが、あー、あんなことあったねー！と笑いながら言えるぐらい、鮮明に覚えているので、その経験を次ぎに活かせるよう、今後の自分の研究や勉強などに精進していきたいです。また留学生を受け入れる機会があればお手伝いさせて頂きたいと思っています。3週間ありがとうございました。またよろしくお願い致します。

- 今回、このプログラムでGSOの皆様をはじめ、グループのチューターの皆さん、またその他のグループのチューターの方々にも手伝って頂くことがあり、本当に様々な方々の助けがあって、無事最後までチューターの役割を務めることができたと思っています。このプログラムで知り合った方との縁を大事にし、これからも交流を続けていけたらと思っています。本当にありがとうございました。
- 今年もサマプロに参加できて良かったです。えれこっちゃ参加についてですが、市民団体と一緒に踊るのではなく、宮大は宮大で独立して参加するという形の方が良いと思います。
- 政治（社会）と人は違うということを改めて痛感した交流でした。何人、何の職業、何歳、といった社会で分けられる肩書き（分類）という表面的なものは、本当の人と人の交流の中では意味をなさず、お互いの自分（自己）と自分をぶつけ合うことでしか得られないものということに改めて気付いて良かったです。
- いろいろなことに挑戦していこうと思いました。
- 楽しかったです！宮崎の最後の夏にたくさんの外国の友達がつくれて嬉しかったです。ありがとうございました♪
- チューターオリエンテーションをもっとひらいて欲しい。少なくともサマプロ前に2回以上、サマプロ中も。日本語クラスは午後から何もないので、午後からどう過ごすか事前に考えたり、情報共有できた方がいい。